

の加算措置150万の補助となるものと考えている。この方針を踏まえ、19年度当初予算計上に向けて検討しているところである。

もっと市民に対して  
わかりやすい説明をせよ!!  
認定こども園 しかり  
公園の有料駐車場条例

**和崎議員**

(1)子育て支援策について  
少子化対策に対する市長の基本的な考えをお聞きしたい。  
認定こども園について

認定こども園、つまり幼稚園、保育園を一体化した施設。この事に市民に対する理解を深める対応がなされていない現状を、どうするのか。それと第4次行政改革の中で、幼、保の民間委託化で運営する方針になっているが、間違いなくこの方針でいくのかお聞きしたい。  
(2)大村公園の駐車場有料化条例について

市民が一番に花を見てくつろげる場所、つまり大村公園の駐車場を有料化する事は、時期尚早であり、もっと具現化した時、充分な市民説明をしての条例提案であれば納得も出来よう。  
この条例については反対である。なぜ今の時期なのか市長の考え



大村公園

方をお聞きしたい。

**市長**

(1) 子どもを生みやすく、育てやすい環境、そして家族が家庭生活を営みやすい環境作りを進めていく必要があるというのが基本的な考え方である。

計画の中で、保育所や幼稚園については、民間に移譲していくという基本線は変わらない。認定こども園については、民営化でいくという基本方針を持っている。ただ、地域の声は声として聞き、その上で基本的姿勢を変えずに進んでいきたい。

**福祉保健部長**

検討委員会からの答申を年明けにもいただき、その内容を尊重しながら、関係住民へも説明を重ねて行いたい。

**市長**

(2) 厳しい財政状況の中、公園の維持管理費も増大している状況である。本来、公園としては特別な施設であり、入園料をいただいてもおかしくないと考えるが、形態上難しい状況もあり、公園内駐車場の利用者に対して使用料を徴収するものである。公園の花木を継続的に楽しんでもらうため、質を向上させ、重要な観光資源としていくためにも、有料化は避けて通れないと考える。確かに第4次行革大綱に入っていないが、財政をよくする懇話会でも利用者負担の適正化が提言されている。適正な利用者負担を求めることが必要であると考える。

(その他の質問事項)

・高齢者・障がい者センターについて  
・副市長制度導入について

大村南部地区活性化のため木場地区にスマートインターチェンジの建設を。認知症予防のために聴力検査の実施を。

**田中秀和議員**

(1) 企画商工行政について  
高速道路のパーキングエリアやバス停などに設置するETC専用のインターチェンジで、一昨年末より全国各地で社会実験が行われ、どのスマートインタ

ーチェンジも整備効果として多くのメリットがあげられている。もしこのスマートインターチェンジを木場に整備することが出来れば、木場・久原地区の振興や地域住民の利便性の向上はもとより、大村市南部の総合的な発展と、活性化に大きく貢献できるものと考えている。整備するためには自治体負担が必要だが、それ以上に効果が期待できるのではないかと考え提案する。

(2) 福祉保健行政について

難聴は、放置することにより周囲とのコミュニケーションがうまくいかず、孤立や閉じこもりを助長し、認知症が進行する。認知症予防のため、高齢者の検診に聴力検診が必要。大村市において検討すべき。

**市長**

(1) スマートインターチェンジは、従来のインターチェンジと比べて、低コストで導入されることが期待されている。市にとつては、木場インターチェンジを設置することで大村インターチェンジからの車の流れを分散でき、また国道の久原付近からスマートインターチェンジへ誘導できることになれば、国道の渋滞解消、移動時間の短縮等市民生活に役立つものと考えられる。また、インターチェンジを利用した市外、県外からの人や物の交流で地域の活性化につ